

北海道・東京六華合同実行委員会 議事録

2005年7月30日
札幌全日空ホテル

出席者・・・23期 301 高島、近藤(旧姓佐藤)、
304 谷口、生野、下野、浅田(旧姓渡辺)、伊藤(旧姓新田)、片山
305 川畑、前田
306 福田(3次会より)
307 塩川(2次会より)
308 新井、福山
309 岩倉、山中(旧姓筑後、2次会より)
30期 柳田、須栗、藤本、対馬(2次会より)
31期 佐々木(2次会より)、戸巻、宮脇

北海道六華同窓会・・・110周年

・スローガン 「 切り拓こう!! 北の大地を そして未来へ 」

東京六華同窓会・・・101周年

・スローガン 「 広げよう六華の輪! 世紀と世代をこえて 」

1. 23期 30期 31期合同実行委員会開催主旨

来年の東京六華同窓会のテーマ「新世紀 六華ネットワークの樹立」は、札幌南高校出身という誇りを持った先輩・後輩の集まりを更に密なるものへすることにあります。

今年5月14日に行われた100周年の記念イベントでは、最高齢94歳から高校卒業したばかりの南55期まで多くの参加があり、大変盛り上がった懇親会でした。東京六華同窓会は、来年より新しい世紀に入るとともに若い世代の同窓会への参加を求めています。既に四世代に渡り札幌南高校出身者がいるほどの歴史は、日本全国を探しても数少ない貴重なものであり、混迷した社会情勢、個人情報保護法など、六華同窓会だけは多くの壁をうち破り、もっと同窓会本来のネットワークを広げ、同窓生にとって有効な組織にしていこうと考えています。

2. 主な協力事業 (案)

- ・ 10月15日の北海道六華同窓会110周年の実行委員会である30期と来年度の31期との相互協力関係を構築する(懇親会への参加の拡大、イベントへの協力)
- ・ 広告募集に関する連携
- ・ 2006年6月3日東京六華同窓会のイベントの協力
- ・ 2006年6月3日懇親会の主なイベントについて

(案) 札幌本校との二元中継

目的・・・在校生徒とOBとの絆を深め、札幌と東京との同窓会を更に密なるものにする

以上の提案に対し、30期、31期からも闊達な意見が出され、5月に現役生と学校林散策があり、学校祭も秋から6月に変わったりしていて、十分に在校生徒を含めた二元中継が可能であるとの意見がでた。それに対し、23期より経験上学校側は保守的な面も大きいとの指摘もあった。

2次会にて、30期柳田実行委員長、31期佐々木実行委員長と23期片山との3者で具体的な役割として、23期は東京から、30期、31期は札幌本校からという基本的な役割を決め、相互協力をもっと深めていくことで合意した。

次会は、10月15日の北海道六華同窓会に23期として多くの参加協力を行い、11月に再度合同実行委員会を行うことになった。

片山(記)